

平成30年6月 青葉区議員団会議 会議録	
開催日時	平成30年6月1日(金) 午後4時15分～午後5時まで
場 所	青葉区役所4階402・403会議室
出席者	<p>【議長】 藤崎浩太郎議員</p> <p>【議員：9名】 青木マキ議員、赤野たかし議員、内田みほこ議員、大貫憲夫議員、菅野義矩議員、行田朝仁議員、小島健一議員、山下正人議員、横山正人議員</p> <p>【説明局員：35名】(青葉区：33名 道路局：2名)</p> <p>小出重佳区長、岡田勇輔副区長、勝島聡一郎福祉保健センター長、近野真一福祉保健センター担当部長、上田祐一郎青葉土木事務所長、田中洋介道路局横浜環状北西線建設課長ほか関係職員</p>
次 第	<p>報告事項</p> <p>(1) 横浜環状北西線の事業の進捗状況について (資料1・道路局横浜環状北西線建設課)</p> <p>(2) 市区町村別平均寿命について(青葉区の男性の平均寿命全国1位) (資料2・福祉保健課)</p>
報告事項 (1) 横浜環状北西線の事業の進捗状況について	
発言の要旨	<p>大貫議員 環境基準を超える自然由来のヒ素が混入する建設発生土の割合が当初の想定を上回った件について、その後どうなっているか。地域への影響はないのか。</p> <p>田中道路局横浜環状北西線建設課長 自然由来のヒ素については、正規の手続により処分している。現地において不溶化して搬出しており、地域への影響はない。</p> <p>山下議員 高速横浜環状北線ができたときは、羽田まで行くのに非常に楽になったという印象があった。</p> <p>北西線については、横浜港の物流機能の補完になるという意味では、保土ヶ谷バイパスの渋滞緩和が期待されるが、青葉区民からすると北西線の開通で羽田が近くなるという期待があると思う。</p> <p>そういう意味では、延長約7.1キロメートルの大変な工事を今やっているということを区民に実感してもらうために、何かイベントを青葉区と共同で開けないか。</p> <p>完成時期がちょうど東京オリンピック・パラリンピックの開催前ということもあり、たとえば、青葉区民マラソンのコースにして開通前にみんなに走ってもらったり、7キロを実際に歩いてもらうといったイベントを、港北区や都筑区、緑区も含めてできればいいと思うが、どうか。</p>

田中道路局横 浜環状北西線 建設課長	<p>高速横浜環状北線が開通したときに、首都高速道路株式会社の主催で、北線のファンランという形で北線の高架区間を走っていただくマラソンイベントを行い、参加者から非常にご好評をいただいた。</p> <p>北西線についてもファンランをやりたいと考えており、どのようなやり方があるのか、首都高速道路株式会社と勉強を始めている。</p> <p>青葉区とも綿密に連携しながら進めていきたいと考えている。</p>
小出区長	<p>青葉区としてもしっかり連携をして、区民の方に喜んでいただけるよう工夫してまいりたい。</p>
山下議員	<p>5月に北西線建設工事の関係車両が生麦ジャンクションで事故を起こしたが、事故の概要はどういうものか。また、事故を起こしたのは首都高側の工事の車両か、それとも横浜市側の工事の車両か。</p>
田中道路局横 浜環状北西線 建設課長	<p>5月25日に、環状北線と横羽線を連絡するランプを26時間ほど通行止めにしてしまう事故があった。</p> <p>事故車両は、横浜市の発注した施工業者の下請のダンプトラックである。</p> <p>事故の状況としては、前に割り込んできた一般車をかわすためにダンプトラックが急ブレーキを踏んでハンドルを切ったところ、壁高欄に激突したものである。</p> <p>被害状況は、ダンプトラックの運転者は打撲の軽症で、割り込んだ一般車は無傷だったが、首都高の壁高欄にひびが入ってしまった。</p> <p>高欄の打ち直し作業は首都高の神奈川管理局が突貫工事に対応したが、コンクリートが固まるのに時間がかかることもあり、長時間の通行止めとなってしまった。</p>
山下議員	<p>事故の話聞いたときに、工事スケジュールの関係で下請の事業者にプレッシャーが掛かったのではないかということが頭をよぎった。</p> <p>工事車両に対しては、交通ルールを守って無謀な運転をしないようにという指導が道路局から入っているようだが、中にはかなり飛ばすダンプなどもいる。</p> <p>ドライバーの気持ちの中で、急かされるような状況になっているということはないという認識でよいか。</p>
田中道路局横 浜環状北西線 建設課長	<p>建設発生土の運搬は、シールドトンネル工事の工期を左右する大事な要素であり、そこは本当に安全にやらなければいけないということを道路局としては徹底している。</p>

	<p>現在、シールドトンネルの掘進は非常に順調に進んでおり、むしろ事故を起こさないように安全に作業をしてほしいと指導をしているような状況であったため、我々としても非常に残念な事故だった。</p> <p>ダンプトラックについては、全車両にICチップを装着することで、横浜市のどの道路をどういうふうに乗っているか、全てこちらの基地で把握できるようになっている。</p> <p>例えば長時間停車をしていたり、我々の想定したルートを外れたり、あるいは規制速度を超えて走行するようなことがあれば指導を行ってきたが、今回の事故を踏まえて、再度、事業者に対して安全運転教育の徹底を図っている。</p>
行田議員	<p>建設発生土の搬出先まで把握しているのか。</p>
田中道路局横浜環状北西線建設課長	<p>ヒ素を含まない土で、シールドトンネル工事の一次処理土というものは一般残土として出せるため、例えば平塚や川向といった区画整理事業や我々自身の工事現場など、盛り土を必要とする現場に運んで工事間流用することで、なるべく外に出さないように調整している。</p>
行田議員	<p>県で建設発生土の一時置き場として許可している場所が区内にもあるが、本当にここを一時置き場として利用しているのかというところがある。</p> <p>例えば農道に10トントラックが入ってきてがたがたになっており、そこを使う農家の方も区民も迷惑しているという例がある。</p> <p>そのトラックが運んでいるのが北西線の工事が出た土なのかわからないが、そういった道の修復は横浜市で予算で行うということもあり、建設発生土の行く先をどこまで管理できているのか確認したかった。</p>
田中道路局横浜環状北西線建設課長	<p>工事間流用していない土については全て、南本牧やUCR（建設資源広域利用センター）の広域残土の受入地に搬入しており、運搬するトラックは大型車両が走れる道路を走行している。</p> <p>一方、工事間流用している土の搬入先は主に道路局の工事現場と平塚、川向の区画整理区域であり、区画整理の区域内では残土の搬入路を作り、区画整理区域の管理者と残土権を交換しながら処理している。</p> <p>したがって、北西線の工事の流用土に関しては全て管理しており、運搬時に農道を走行することはないと考えている。</p> <p>ただ、朝の早い時間に出発してしまい、搬入開始時間まで途中で時間調整をしているケースはある。</p>

赤野議員	<p>これから市会でもいろいろな議論があるかと思うが、利用料金のあり方について考えがあれば聞かせてほしい。</p>
田中道路局横 浜環状北西線 建設課長	<p>首都高の料金は28年度に認可をとって対距離制の料金に変更されており、例えば初乗りが200円で、1キロごとに何十円と決めて、大臣認可をとって事業をしている。</p> <p>北西線についても、先に開通した北線と同様、走った分だけ料金が上がり上限で止まるという料金体系になる。</p>
赤野議員	<p>たとえば、青葉区から関内に行くときに、現状では第三京浜の都筑か港北インターチェンジから乗ることになるが、これが新しくできる青葉インターチェンジから乗ることになれば、大体5分から10分程度の時間短縮になると思われる。</p> <p>ただ、利用者の側からするとやはり費用対効果を考えることになる。まだ開通まで時間がある話ではあるが、具体的な料金についてわかれば教えてほしい。</p>
田中道路局横 浜環状北西線 建設課長	<p>青葉区から関内へは、北西線を走って第三京浜で行くのが安いのか、それとも北西線、北線、横羽線で行くのが安いのか、というご質問だと思う。</p> <p>試算した料金を調べてご回答したい。</p>
横山議員	<p>以前私は同じ質問をしたことがある。そのときの答えでは、青葉からだと港北ジャンクションで第三京浜に乗って、保土ヶ谷インターチェンジから三ツ沢線・横羽線に入ったほうが安いという結論だった。そのまま生麦まで首都高でずっとつなぐより、そちらのほうが安いという結論だった。</p>
大貫議長	<p>インターチェンジやジャンクションができると、一定期間は周辺地域の規制が緩和されるというようなことを聞いたことがある。</p> <p>その結果、たとえば物流関係の基地ができたり、当然青葉区の土地利用やまちづくりにも影響が出てくると考えるが、そうした変化について想定していることはあるか。</p>
小出区長	<p>今の段階で具体的な話は聞いていないが、インターチェンジ等の近くでまちづくりが行われるという例は確かにある。</p> <p>区としては、区民のためになるように、局と調整していきたい。</p>

	<p>大貫議員 都市計画マスタープランにも関係してくると思うが、北西線が開通すれば、当然、青葉区に出入りする車が多くなると考えられる。現時点でそういったシミュレーションはあるのか。</p> <p>田中道路局横 国道246号線から北西線で都心に向かう交通量や羽田に向かう交通量 浜環状北西線 が出ることは想定できるが、青葉区に出入りする車の量については、推 建設課長 計上は押さえてはいないと思う。</p>
<p>報告事項（2）市区町村別平均寿命状況について（青葉区の男性の平均寿命全国1位）</p>	
<p>発 言 の 要 旨</p>	<p>行田議員 健康福祉局が実施した「健康に関する市民意識調査」では、健康への 取組や健康診断等の受診状況について、青葉区は横浜市平均より大体1 ポイントから3ポイントほど上回っているようだが、この調査の回答率 はどれくらいか。</p> <p>滝本福祉保健 市民意識調査は、回答数が約1万3000人で、回答率としては、インタ 課長 ーネットが38.9%、郵送が49.0%となっている。</p> <p>行田議員 回答率によって結果も違うのだろうと思う。回答しなかった人の取組 状況はどうかと感ずる。</p> <p>小島議員 厚生労働省の発表では、平成17年の平均寿命は全国で青葉区の男性が 1位、女性が7位で、私は当時、青葉区は“男女総合全国1位”と勝手に に言っていた。 今回は青葉区の男性が1位で、女性が9位。お隣の麻生区が男性の2 位、女性の4位だが、今回も「青葉区は男女総合1位」と言ってしまう てよいのか。</p> <p>滝本福祉保健 いろいろな統計を見ると、男女総合という順位が見当たらないので、 課長 おそらく、男性、女性で分けて順位を出していると考えられる。</p> <p>青木議員 ざっと足して2で割っただけだが、青葉区と麻生区を比べると、青葉 区のほうが少しだけ上になる。</p> <p>山下議員 喫煙状況についての回答が青葉区は特徴的だと思うが、喫煙率と寿命 の関係、あるいはさきほどソーシャル・キャピタルという話もあったが、 経済的状況と寿命の因果関係、といったクロス集計データを健康福祉局 では取っているのか。</p>

<p>滝本福祉保健課長</p>	<p>健康福祉局の回答では、因果関係をはっきり示すデータはない。たとえば、喫煙率が低ければ寿命が長いのだろうと推測はされるが、はっきりとそれが原因で平均寿命が長い、ということを示すデータはないため、報道機関からの取材に対しても「区民の意識が高い」というような回答をしている。</p>
<p>山下議員</p>	<p>喫煙率の調査は、青葉区だけでなく他にもやっているところはあるか。</p>
<p>滝本福祉保健課長</p>	<p>市の健康に関する意識調査では18区について調べており、「毎日吸っている人」が全市平均では19.7%なのに対して青葉区では17.8%で、これは18区中、一番低い率になっている。</p> <p>ただし、「時々吸っている」という回答を含めると全市で4番目になる。</p>
<p>山下議員</p>	<p>せっかく平均寿命全国1位という良いデータが出て、青葉区のイメージがアップしているので、これを良い政策につなげていきたい。</p> <p>また、平均寿命だけでなく健康寿命の延伸にもつなげていかなければいけない。</p> <p>特にたばこについては、青葉区はこれだけ喫煙率が低いことから、さらに市民の健康意識を醸成するためにも、受動喫煙防止に取り組んでもらいたい。</p> <p>たとえば、食品衛生協会等に対して「青葉区は喫煙率が低いことから積極的に受動喫煙防止の取組をやりましょう」と働きかけるようなことを、生活衛生課の立場からできないか。</p>
<p>松野生活衛生課長</p>	<p>私からも青葉区の食品衛生協会に情報提供をして、働きかけていきたい。</p>
<p>青木議員</p>	<p>実は横浜市の中で青葉区は有料老人ホーム等の数が突出して多い。</p> <p>したがって、区外からの高齢者の転入といった要因も青葉区の平均寿命に影響しているのかもしれない。</p> <p>その意味で、平均寿命と健康寿命が必ずしも一致しているとは限らない。</p> <p>こうしたことについては、区民意識調査だけでは見えてこないところもあるということを念頭に置きながら、今後の政策につなげていただきたい。</p>

内田議員	<p>厚生労働省の発表では、沖縄県の女性の平均寿命が毎回かなり上位にある。</p> <p>それはおそらく、沖縄の人がもともと健康的な暮らしをしている。食生活の面でも非常に栄養価の高いものを食べている。</p> <p>そういったところをもっと研究して、医療関係の整備だけでなく、食生活の改善等の面もぜひ見習うべきだと思うが、どうか。</p>
小出区長	<p>平均寿命に関係する要因については、学識者の中でも意見が分かれる部分もあり、確定的な分析は難しいこともあり、今回の結果を喜んでばかりはいられないと考えている。</p> <p>今回の結果に甘んじることなく、さらにそこから先、区民の健康寿命を延ばしていけるよう、せっかくのこのチャンスを、次につなげていけるよう努力していきたい。</p>
菅野議員	<p>青葉区の場合は歩きやすい場所、走りやすい場所が多い。私も、毎朝一時間走っている。走っていて驚くのは、最近、本当に多くの高齢者の方が歩いているということ。また、犬などの動物を連れて歩いている人も多くなった。</p> <p>動物のおかげで一緒にウォーキングができたり、走ったりできるということもあると思うが、動物の飼育頭数についてデータはあるか。</p>
松野生活衛生課長	<p>犬については、約1万6000頭が青葉区で登録されている。</p> <p>区内にはドッグランもあり、犬の散歩をされている方も多いと思うが、犬を連れてウォーキングされている数についてはわからない。アンケートなども行っていない。</p>
菅野議員	<p>動物のおかげで歩けるようになった人もいる。また、犬だけでなく猫を連れて歩いている人もいる。</p>
大貫議員	<p>やはり健康寿命が本当に大事だと思う。そして、健康寿命には高齢者の社会的参加というのがかなり大きな影響があると思っている。</p> <p>したがって、区で取り組んでいる「あなたの力の1%をあおばの未来に！」という青葉区版の地域課題解決モデルは、本当に大事にしてほしい。また、「この1%は『あなたのため』の未来だ」ということも付加していただきたい。</p> <p>もう一つ、社会的参加に必要なのは、移動。家の中にずっといるような状況を作ってはいけないといったときに、地域の交通部門というの</p>

	<p>は、青葉区の場合、特に奈良地区については、非常に問題があると思っている。</p> <p>あの地域から外に出るといのはなかなか難しいという場合があり、地域の交通網をどうやって増やすかということについても、ぜひ考えてほしい。</p> <p>小出区長 青葉区は、ご自身の持つ知見やスキルを活用して地域の課題を解決していこうという意識の高い方が多く、非常に素晴らしいことだと感じている。</p> <p>これからは、さらにお互いに助け合う・思い合う街となるように、区役所としても邁進してまいりたい。</p> <p>また、交通については、区としても大きな課題と考えており、何か工夫ができないか、引き続き考えていきたい。</p> <p>横山議員 今日の議題に関連するのだが、ぜひ青葉区議員団会議として横浜環状北西線を視察する機会を作ってほしい。</p> <p>川合総務課長 実施について調整させていただきたい。</p>
--	---